

飯伊地区 産業経済動向

No.508 2021/7
(3.8.25 発行)



IIDA SHINKIN BANK
飯田信用金庫
しんきん南信州地域研究所

http:// www. iidashinkin. co. jp
〒395-0044 飯田市本町1-2
TEL 0265-53-5811 FAX 0265-53-1132

飯伊地区主要経済指標

主 要 指 標		実 数	前 月 比	前 年 同 月 比	前 々 年 同 月 比
手 形 交 換 高 (飯田手形交換所扱)	枚 数	2,156 枚	△ 14.2 %	△ 20.4 %	△ 40.7 %
	金 額	2,697,156 千円	△ 35.8 %	△ 22.7 %	△ 43.7 %
う ち 不 渡 発 生 状 況	枚 数	0 枚	(前月 0 枚)	(前年同月 0 枚)	(前々年同月 0 枚)
	金 額	0 千円	(前月 0 千円)	(前年同月 0 千円)	(前々年同月 0 千円)
倒 産 件 数 (負債額1千万円以上)	県 内	6 件	(前月 5 件)	(前年同月 9 件)	(前々年同月 5 件)
	飯 伊	1 件	(前月 1 件)	(前年同月 2 件)	(前々年同月 0 件)
住 宅 着 工 戸 数 (飯田市、下伊那郡 総数)(6月)		71 戸	44.9 %	9.2 %	24.6 %
有効求人倍率(パートを含む実数) (ハローワーク飯田管内)(6月)		1.31 倍	(前月 1.18 倍)	(前年同月 0.88 倍)	(前々年同月 1.40 倍)
自動車新規登録台数 (松本事務所管内)	新 車	2,040 台	5.8 %	△ 7.4 %	△ 25.4 %
	中古車	759 台	△ 2.7 %	△ 13.8 %	△ 5.1 %
軽自動車新規登録台数 (軽自動車協会連合会長野事務所) (6月)	新 車	3,429 台	△ 0.3 %	△ 7.5 %	△ 20.6 %
	中古車	1,216 台	10.0 %	△ 8.1 %	14.8 %
中 央 道 利 用 台 数 (飯田インター分)	入	88,908 台	10.0 %	△ 1.4 %	△ 23.1 %
	出	89,941 台	11.7 %	△ 0.8 %	△ 23.6 %
中 央 道 利 用 台 数 (松川インター分)	入	55,450 台	8.3 %	△ 9.4 %	△ 29.9 %
	出	54,386 台	8.2 %	△ 7.9 %	△ 28.2 %
中 央 道 利 用 台 数 (園原インター分)	入	14,034 台	18.8 %	32.1 %	9.1 %
	出	13,923 台	16.7 %	27.7 %	5.2 %
中 央 道 利 用 台 数 (飯田山本インター分)	入	41,696 台	30.6 %	25.4 %	2.1 %
	出	43,095 台	36.9 %	33.3 %	7.6 %
中 央 道 利 用 台 数 (座光寺スマートインター分)	入	28,410 台	11.6 %	— %	— %
	出	28,591 台	10.6 %	— %	— %
信用保証協会 新規保証件数 (飯田支店管内)		95 件	△ 6.9 %	△ 81.7 %	△ 41.7 %
信用保証協会 代位弁済件数 (飯田支店管内)		0 件	(前月 0 件)	(前年同月 2 件)	(前々年同月 3 件)
高 速 バ ス 乗 車 人 数	飯田～新宿	7,226 人	37.5 %	56.5 %	△ 72.5 %
	飯田～名古屋	6,906 人	49.6 %	20.4 %	△ 62.4 %
	飯田～長野	3,298 人	2.4 %	△ 18.5 %	△ 65.0 %
	伊那・駒ヶ根～新宿	4,194 人	44.3 %	67.3 %	△ 80.6 %
市 内 循 環 バ ス 乗 車 人 数	左回り	2,737 人	△ 5.3 %	△ 1.7 %	△ 27.5 %
	右回り	2,841 人	5.7 %	4.6 %	△ 21.6 %

◆ 本誌内容は飯田信用金庫ホームページ (http://www. iidashinkin. co. jp) に全文掲載しています ◆

本誌は、当金庫が信頼できると考えるデータに基づき作成されておりますが、データ、記述の正確性、完全性を保証するものではありません。御利用に当たってはご自身の判断によってください。

しんきんは環境にやさしい取り組みを地元のみなさまとともにしています。



100%植物油製インキ
[ナチュラリス100] を使用しました。

再生紙を
使用しています

地区内製造業の景況判断指数

概況 景況DIはプラス領域を維持も 先行きに不透明感

当月の製造業の業況判断指数（DI）は、プラス17.9で、前月から4.3ポイント低下。翌月予測はプラス3.8で、前月から24.2ポイント低下。

主な業種の動き

●電気・精密・光学

- ☑景況感……やや悪化～やや好転。受注、販売高とも業者により増減分かれる。先行きの見通しは横ばいとの声が多い。
- ☑雇用……複数の業者から不足感を指摘する声。
- ☑原材料価格…上昇基調は変わらず。

[企業からのコメント]

- ・新型コロナウイルスによる世界経済への影響が長期的に懸念されるが、受注・販売状況は回復してきている。
- ・全世界的に鋼材・樹脂材・電子部品等の入手が困難になってきており、客先での生産に影響が出てくる可能性が高い。
- ・コロナ禍の終結まで、回復の見通しは立たない。

●半導体、液晶製造装置向け機械部品

- ☑景況感……やや悪化～やや好転。やや悪化の先も、前月と比べて多少悪化という程度との声。先行きは横ばいとの声が多い。
- ☑受注残高……今後も上昇基調が続く見通しという。
- ☑雇用……人員不足や増員検討の声が多く聞かれた。

[企業からのコメント]

- ・前月が非常に好調であったため単月では販売減少も、前年比では大幅増加で、引き続き高水準で推移している。
- ・「半導体装置需要は9月以降増加の予測あり」「FPD関連は少々」
- ・「7月、9月で1名増員、その後も増員検討」「今後、技術経験者を募集」

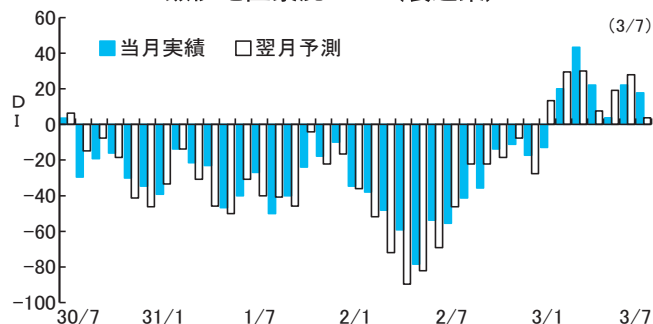
●産業機器、医療機器向け等機械部品

- ☑景況感……横ばい～好転との声。ただ先行きに関しては、やや悪化するとの声が複数寄せられた。
- ☑原材料価格…半数近い事業者が上昇傾向という。
- ☑製品単価……コスト見直しにより単価上昇の声もあるが、材料値上がり分を転嫁できないとの声が多い。

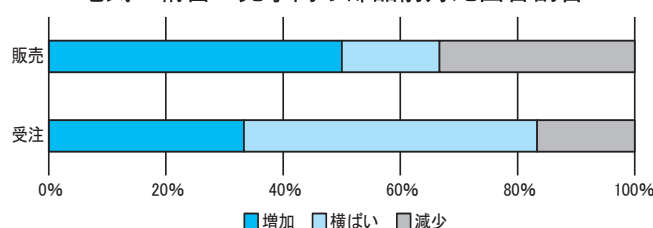
[企業からのコメント]

- ・「基板不足で生産調整しているものがある」「発注の話は出ても購入品の納期が見えず、受注できないとの声も」「受注に不安定さがある」「短納期、単価低減に対応する必要がある」
- ・「医療機器部品の売上は前月比でやや減少、産業用機械関連部品の売上は概ね横ばい」
- ・「必要な設備投資について実施済み、今後も予定あり」「今後、設備の更新を検討」
- ・「鉄材が毎月変動しそう」「コストダウン要求は厳しい」「材料値上がり分について、リピート品への転嫁は厳しい」

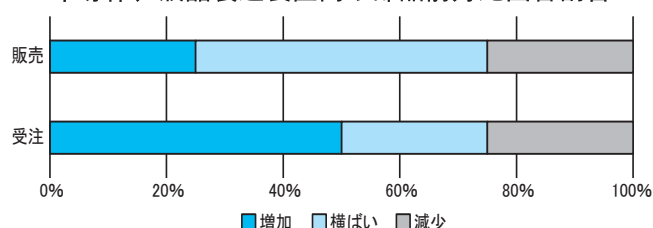
飯伊地区景況DI（製造業）



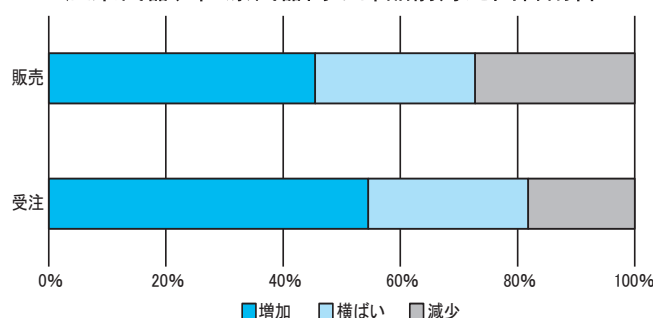
電気・精密・光学向け部品前月比回答割合



半導体、液晶製造装置向け部品前月比回答割合



産業機器、医療機器向け部品前月比回答割合



●半生菓子、菓子原料等

✓**売 上**……前月比は業者により増減分かれる。菓ごもり消費の影響で一部製品には回復の兆しも見えるが、全体ではコロナ前の水準には届いていないとの声も。

✓**景 況 感**……概ね横ばいとの声が複数。秋以降もコロナ禍の影響で先行き不透明という。

✓**原材料価格**…上昇基調が継続との声。

〔企業からのコメント〕

- ・売上は前月比やや減少で、繁忙期の割には低調と感じている。秋になってどう動くのか、コロナの影響はどうなるのか、しっかり勉強して見定めたい。
- ・駄菓子が回復してきたが、土産物はまだ良くない。景況感は今後も大きく変わらない見通し。
- ・小麦、砂糖、油など値上がり中。

●水引製品

✓**売 上**…前月比は業者により増減分かれるも、減少の声が多い。

✓**景況感**…やや悪化～横ばい。先行きは悪化を見込む声が多い。

〔企業からのコメント〕

- ・「盆や年末向けの商品注文は受けているが、大きな盛り上がりとはまだはいかない」「正月飾りの注文はあるが、昨年より減少」
- ・中国内でのコロナの感染再拡大の影響で、物流が滞っているとの情報があった。今後が心配。
- ・中国のコンテナ不足の影響により、海上運賃が大幅に上がっている。
- ・コロナ禍の中、行政からは展示・販売や新製品開発などの支援がされている。ありがたいことだが、この時節に合った製品を作り出すことができるかが問われている。
- ・人が密になることを避けることが優先されている折、冠婚葬祭が盛んになることはない。コロナの良薬ができない限り、1年、2年は我慢が続くだろう。

●漬物

✓**売 上**…前月比、前年比ともやや減少。

〔企業からのコメント〕

- ・新型コロナウイルスの感染状況により、一進一退の状況という感がある。
- ・調味料、添加物などで値上げの動きが増えてきている。

●上記以外の製造業

✓**建築用金属製品**…販売は前月比やや増加も、前年比では減少。景況感は改善傾向にあり、次月以降も売上は増加を見込むという。原材料単価の上昇基調は継続との声。

✓**自動車向け部品**…販売は前月比、前年比ともにやや増加。景況感には大きな変化はないとの声。

✓**印刷、出版関連**…売上は前月比概ね横ばい、前年比では減少。コロナ第5波の感染拡大が影響し始めており、景況感は悪化傾向という。

✓**衣 料 品**……………販売は前月比やや増加も、前年比では減少。景況感は改善傾向との声。

〔企業からのコメント〕

- ・全国的に建設関連はまだまだ厳しいが、先々は明るい見通しも。
- ・昨年に続き夏のイベントが中止となり、関連する印刷の仕事がなく、大きく売上に影響した。受注件数的には昨年より多少増えたものの、大物の案件が少なかった。秋にかけてのイベント開催見込みも厳しい。
- ・東京都のコロナ感染拡大が全国的にも大きく影響あり。北関東エリアでイベント会場に決まっていた場所がコロナワクチンの接種会場になってしまい、今年のイベントは中止決定。関連する仕事がなくなってしまった。
- ・SDGsに関連した衣料素材に関心が集まっているが、コロナで消費が落ち込み外出も控えているため外衣が動かない。これから秋冬物の最盛期を迎え、各社生産したいが生産できないジレンマが募るばかりである。
- ・昨年の今頃からはアイソレーションガウンの生産が最盛期を迎え、各社生産に追われて収益確保もできたが、今年はその受注が全くなく苦慮している。
- ・「今後に備え、増員を計画」「工務系を求人中」「現状は人員過剰、後は新卒採用のみ」

建設業

官公需

概況 7月の公共工事入札金額は前月比、前年比ともに増加

☑公共工事入札額…当地区における当月の県、市町村

発入札額注工事の入札額合計は、約25.8億円。前月比44%増加、前年比では23%増加している。

(8月25日調査時点)

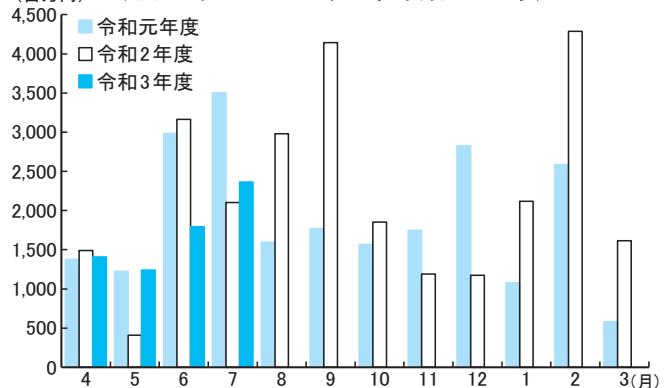
☑受注残高……前月比、先行きともに、事業者により増減分かれるが、先行きは増加を見込む声が多い。

☑原材料価格……木材、石油製品の他、生コン、骨材についても上昇との声が聞かれた。

☑雇用……業務量に対して技術者が不足との声は根強く、この傾向は今後も続くとの声も多い。

月別入札額

(百万円) (飯伊地区における県・市町村発注工事)



(資料：新建新聞入札結果欄より抜粋)

[企業からのコメント]

- ・「昨年度の災害関係工事はほぼ完了し、新年度工事の発注待ち」
- ・「当地区は国土強靱化対策、昨年の豪雨災害工事、三遠南信道路建設、リニア関連工事と忙しく、相変わらず技術者、技能者不足」「国土強靱化施策による公共工事の安定発注に期待するが、技術者不足により受注ができない傾向も今後予想される」
- ・「資材の値上げが相次いでいる」「ガソリン等の燃料系が徐々に値上がり、木材系も値上がり」

民需

概況 令和3年6月の住宅着工戸数は前月比45%増の71戸

ウッドショックの影響が当地区にも波及との声

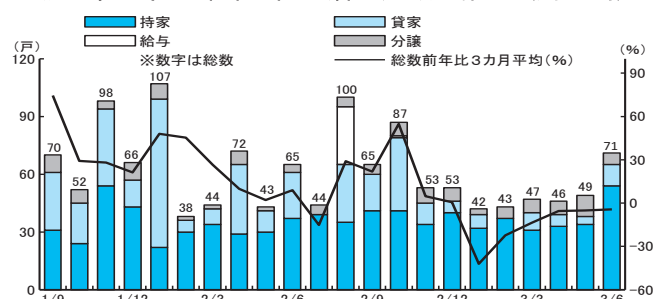
☑住宅着工戸数…当地区の6月の住宅着工戸数は71戸。

前月比45%、前年比9%増加。

☑受注残高……当月の受注残高の前月比は業者により増減分かれるが、減少との声が多い。細かなリフォーム工事が中心との声強い。

☑原材料価格……引き続き木材、燃料、鋼材等も値上がりとの声。上昇傾向にいつ止まりがかかるか見通せない状況という。

飯田市・下伊那郡 住宅着工戸数の推移(用途別)



(資料：長野県住宅部)

[企業からのコメント]

- ・「新築や大型改造工事はなし」「建築工事は民間が冷え込んでいるのでさほど忙しくないが、木材不足により価格が高騰」「民間の建設投資がコロナ前の水準に戻らない」「民間の一般工事は営業力のある会社が受注するくらいで、総じて少ない」
- ・「民間工事の冷え込みは続いているが、徐々に受注も」「製造業は工場増築の計画があるところもあるが、競争は厳しい」
- ・「ウッドショックの状況になりつつあり、民間需要のブレーキになりかねない状況となっている」「住宅関連はウッドショックによる木材の不足が続き、受注制限や工期の遅れなどから低調」「住宅は木材の値上がりや供給不安がある」

建設資材等

概況 7月の生コン、骨材は前月比減少～横ばい。前年比では増加傾向

☑生コン…売上の前月比は減少～横ばい。前年比では大幅に増加となった。

☑骨 材…売上の前月比はやや減少、前年比では増加。

[企業からのコメント]

- ・当月の生コンの主な出荷は、三遠南信工事、リニア関連工事、発電所工事、店舗・工場新築工事、治山・砂防工事に関わるものだった。リニア関連工事の出荷量は、当月出荷量全体の5%弱。
- ・国土交通省発注工事の小嵐トンネル、砂防堰堤工事のおかげで順調に生コンの出荷がある。いつ始まるともしれないリニア工事を待ち望んでいるが、いざ始まれば忙しすぎて生コンの供給、骨材の確保の問題等が出てくる。
- ・骨材に関して、今のところまだリニアのための出荷は少ない。

商業・サービス業

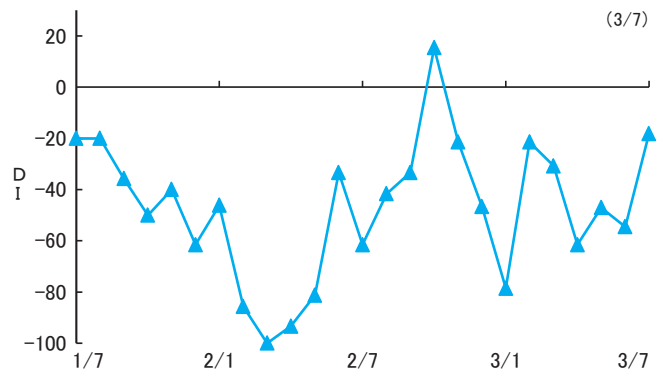
概況 前月に比べ景況感は改善も、先行きの不透明感は依然強い

当月の商業・サービス業の業況判断指数（D I）は、マイナス18.2で、前月から36.3ポイント上昇。

業種により一概には言えないが、売上は前月比上昇との声は少なくない。一方、コロナ第5波の襲来、あるいはアフターコロナの姿が見えないなど、先行きの不透明感は依然非常に強い。

こうした中、環境政策、デジタル化進展への対応を進めるとの声が複数聞かれた。

商業・サービスD I



主な業種の動き

●小売業 概況 景況感は、悪化、横ばいの声が半ばする。

☑売上……前月比やや減少との声が多い。

☑仕入単価…野菜の安値が売上に影響しているとの声が多く聞かれた。

[企業からのコメント]

- ・野菜の下落で売価が低く売上に影響。マスク販売の減少の影響も大きい。
- ・行政の商品券使用期間が終わる。次月から反動が予想される。
- ・今月も行事がほとんどない。盆月、夏休みを控えていることもあるのだろうか。
- ・下伊那は都市部ほどのコロナの影響は、まだない。しかし、予断を許さない。

●卸売業 概況 景況感は、取扱商品により分かれる

☑売上……前月比は業者により増減分かれるも、増加との声が多い。環境政策、デジタル化への対応を指摘する声は多い。

☑仕入単価…物流費上昇との声も。

[企業からのコメント]

- ・ゼロカーボンなどによる太陽光発電システムや蓄電池等エコエネルギーに関するものが活発になりそう。とはいえ、世界的な半導体不足で納期未定のものも多い。DXの進展や天候、気候に関わる市場の変化にしっかり対応する。
- ・ワーケーション、テレワーク、リモートオフィス、シェアオフィスなど新しい業務への対応を強化。
- ・昨年のような日照不足や降雨による作柄不良がない野菜は、近年にない安値。7割を超える品目で価格が大幅に前年を下回り、全体では入荷量1%増も価格は26%安と厳しい販売となった。果実では桃が順調な作柄。入荷量は昨年の2倍で平年並み。梅雨明けが早くスイカも順調。好調な販売だった。
- ・エアコン、空調設備機器が好調。季節商品がようやく動き出した。

●飲食・宿泊・運輸業 概況 売上は、前月比増加、概ね前年並みも、不透明感は強い

☑売上…売上は、前月比増加、概ね前年並み。一昨年対比では減少の様子。先行きの不透明感は、依然として非常に強い。

[企業からのコメント]

- ・コロナが再び増加している。ワクチン接種が進んでも来店は少ない。長引きそう。加えてオリンピックで引けが早かった。
- ・まだまだ宴会が少なくコロナ前に戻らない。コロナが終息した後どうなるのか、全く先が見えない。
- ・昨今の今はテイクアウトが良く売れ出した頃。今年は苦しい。とはいえテイクアウトがないと売上が伸びせない。
- ・コロナの拡大で下期に予定されていた修学旅行の受入れが未定となった。これに限らず、下期一定の予約があったのだが、先行きが不明で不安定。
- ・月の後半にやや動きが活発になって、前年同月比やや増加。感染拡大に歯止めがかからない中、心配しながら営業再開したが、再び非常事態宣言が出て宿泊客の足止め感がある。今までやってきたことは何だったのかと思える。
- ・タクシー売上は週末の夜間は戻りつつあるが、平日に関してはまだ全く上向き感は見られず、売上の落ち込みはまだ大きい。全国的なコロナ第5波の襲来でますます厳しくなるのでは。
- ・コロナ禍の需要量で落ち着いてしまうのではないかと非常に不安。公共交通事業者には営業自粛は発令されず経営を継続しているが、継続的に住民の生活を支えるためには、業界内の新たな仕組みを検討する必要があると思うし、支援も期待したい。

リニア時代を迎える飯伊地域の資源（10）

赤石山脈（南アルプス）（7）南信州遠山郷（その2）

～ 遠山郷登山口に変化の兆し？～

南アルプスの遠山郷については、本誌2019年4月発行号No.481で取り上げたが、その後若干の動きがみられることから再び訪れた。

1. コロナとリニアが南ア登山へ影響

本年の南アルプスは、昨年に引き続き、新型コロナウイルス蔓延により多くの山小屋が休業している。南アルプス南部の静岡県側では、静岡県・静岡市有の9施設が休業（㈱特殊東海フォレスト HP）。このことがあって、一般車両が行くことのできる畑薙第一ダムから奥へ向かう登山者用送迎バスは運行休止となり、畑薙第一ダムからの徒歩による入山となって静岡県側の南アへのアプローチが従来より時間を要することとなっている。尚、長野県側では、民営の三伏峠小屋（大鹿村）はコロナ対策を実施し営業している（同 HP）。

他方で、現状コロナの表面化で見逃されがちであるが、静岡県側の代表的な登山基地であるさわらじま榎島とにけんごや二軒小屋では、リニア工事関係者の宿泊施設が設置され、あるいは従来登山者に提供されていたロッジもリニア工事関係者の使用となって、一般の登山者が入り込み難しくなっている。

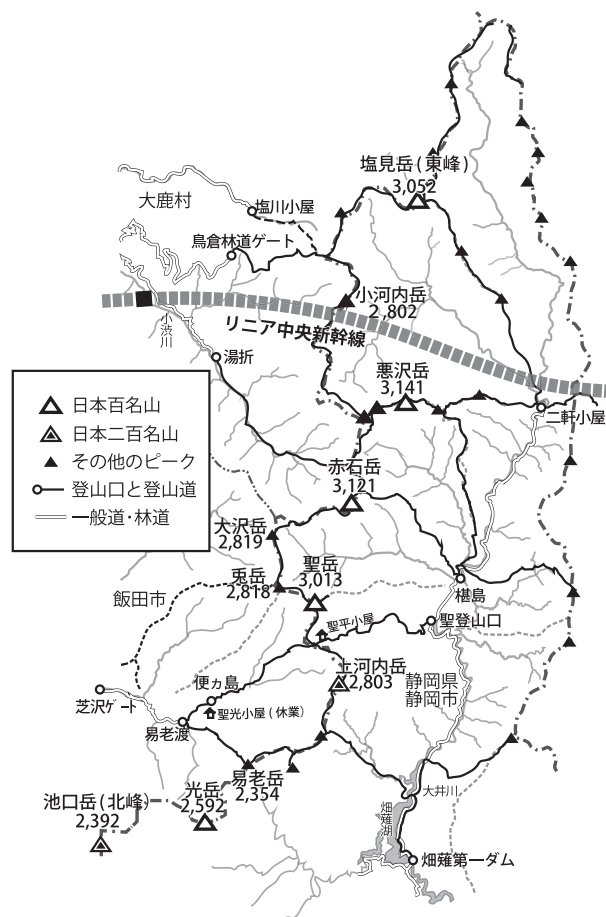
このような事情から、本年は長野県側から南アに入る登山者が増加しているといわれている。飯田市南信濃のひじりだけ聖岳、光岳（共に日本百名山）の登山口である芝沢ゲート（本来の登山口であるいろうど易老渡、たよりがしま便ガ島へは途中の道路が崩落し一般車通行止め、手前の芝沢ゲートでスタートとなる）では、7月の4連休には駐車場が満杯、130台程の駐車が確認されたとの情報があった。

限られた人数の登山者で推移していた南信州遠山郷の入山状況に構造的な変化が起きているのだろうか。



下栗からの南アルプス（中央右：聖岳）

南アルプス南部概略図



2. 登山者の行動が地域経済に組み込まれるように

最近の南アルプスの入山状況等について、遠山観光協会にお聞きした。

南アルプス聖岳、光岳の入山は、夏シーズンを中心に年間2,000～4,000人で推移している（下グラフ）。最近の年毎の増減は登山道の崩落による影響。近年の遠山郷の各観光ポイントは国道152号線（地蔵峠など）をはじめ、各所で毎年のように起きる崩落により入込状況は厳しい。そしてコロナの影響も。

芝沢ゲートから易老渡、便ガ島登山口までの道路（市道）は、一時電力会社、治山関係の車両の他タクシーの乗り入れが可能だったが最近の崩落によりタクシーの乗り入れはできなくなっており、登山者は芝沢ゲートからの徒歩となる。今年になって入山者は増えており、7月4連休の芝沢ゲート駐車場の混雑状況は承知しているが、お盆中は雨で入山はそれ程ではなかったともいえる。いずれにしろ、今年の入山状況はシーズンが終わってデータを集計しないと何とも言えない。静岡県側の^{ひじりだい}聖平小屋の管理者から、今年の小屋関係の荷揚げを長野県側からしたいと申し入れがあり、対応した。一般登山者も静岡県側から長野県側への入山シフトがあるかとも思われるが、聖岳、光岳はそう簡単に入れる山ではないので劇的な増加にはならないのではないか。

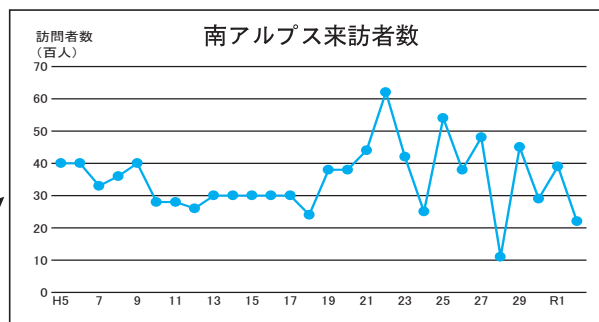
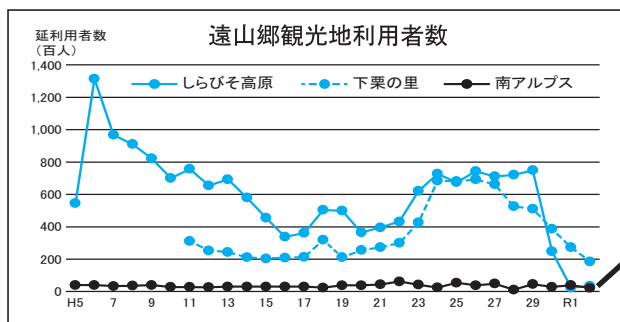
リニアを見据えた山岳政策としては、まず登山口までの道路と登山道の安全確保。毎年のように通行止めがあると客離れを招いてしまう。

ビジターセンター設置など登山者が立ち寄れる施設、リニア駅なりからの二次交通の整備、ガイドの要請など、登山に関して地元にお金が落ちる仕組みを整える必要があると考える。

現在、管理者が不在となって休業している聖光小屋の再開も課題。採算性に目途がつけられるよう考えたい。



芝沢ゲートと駐車場
7月4連休は130台程度の駐車があった



（長野県観光地利用者統計調査）

3. リニア時代に向けた山岳観光を志向して

今回、南信州遠山郷に劇的な変化が生じているとのデータの裏付けは得られなかったが、登山者が今までよりも南アの長野県側に目を向けるようになったことは事実のようだ。コロナの蔓延状況もあるが、リニア工事も関係しているとなると、この状況は当面続くことになる。南ア登山の環境整備を官民で取り組むことが求められる。そして、リニア開通後に繋げていくことができれば、と考える。

（飯田信用金庫 しんきん南信州地域研究所 リニア・三遠南信対策室 加藤 修平）

主要経済統計

項目 年月	住宅着工戸数		高 速 バ ス 乗 車 人 数							
	飯 伊 地 区		飯 田 ～ 新 宿		飯 田 ～ 名 古 屋		飯 田 ～ 長 野		伊 那 ・ 駒 ケ 根 ～ 新 宿	
	実 数	前 年 比	実 数	前 年 比	実 数	前 年 比	実 数	前 年 比	実 数	前 年 比
	戸	%	人	%	人	%	人	%	人	%
平成27年	563	△ 1.1	329,654	2.1	203,315	4.1	124,261	10.1	—	—
28	634	12.6	326,157	△ 1.1	208,771	2.7	115,843	△ 6.8	—	—
29	705	11.2	327,875	0.5	218,764	4.8	115,698	△ 0.1	—	—
30	637	△ 9.6	327,033	△ 0.3	219,979	0.6	112,882	△ 2.4	—	—
令和元	710	11.5	326,056	△ 0.3	226,581	3.0	108,454	△ 3.9	263,821	—
2	771	8.6	102,394	△ 68.6	85,747	△ 62.2	49,063	△ 54.8	71,390	△ 72.9
令和 2. 4	72	41.2	1,373	△ 94.8	2,087	△ 88.8	2,122	△ 77.3	1,472	△ 93.2
5	43	△ 28.3	1,893	△ 93.2	1,439	△ 92.4	1,805	△ 81.8	0	△ 100.0
6	65	14.0	4,971	△ 79.8	4,194	△ 75.5	3,466	△ 63.5	936	△ 95.3
7	44	△ 31.3	4,617	△ 82.4	5,736	△ 68.8	4,049	△ 57.0	2,507	△ 88.4
8	100	104.1	4,400	△ 88.1	4,150	△ 81.9	3,040	△ 67.1	3,226	△ 89.0
9	65	△ 7.1	5,949	△ 78.6	5,901	△ 68.7	3,560	△ 59.0	3,586	△ 84.2
10	87	67.3	7,317	△ 60.9	7,335	△ 61.8	4,234	△ 52.1	4,778	△ 70.1
11	53	△ 45.9	7,299	△ 73.7	7,446	△ 59.6	3,782	△ 57.4	4,100	△ 81.3
12	53	△ 19.7	5,628	△ 80.3	5,813	△ 68.7	3,121	△ 60.5	3,274	△ 85.5
令和 3. 1	42	△ 60.7	3,607	△ 86.6	3,889	△ 78.3	2,914	△ 63.4	2,323	△ 89.0
2	43	13.2	4,209	△ 79.8	3,848	△ 74.5	2,949	△ 60.4	2,392	△ 85.9
3	47	6.8	6,925	△ 38.6	6,945	△ 19.9	3,953	△ 11.6	3,680	△ 60.9
4	46	△ 36.1	5,695	314.8	5,607	168.7	3,264	53.8	3,313	125.1
5	49	14.0	5,085	168.6	4,656	223.6	2,967	64.4	2,632	—
6	71	9.2	5,256	5.7	4,617	10.1	3,220	△ 7.1	2,907	210.6
資料出所	長野県建設部住宅課		信 南 交 通 株 式 会 社							

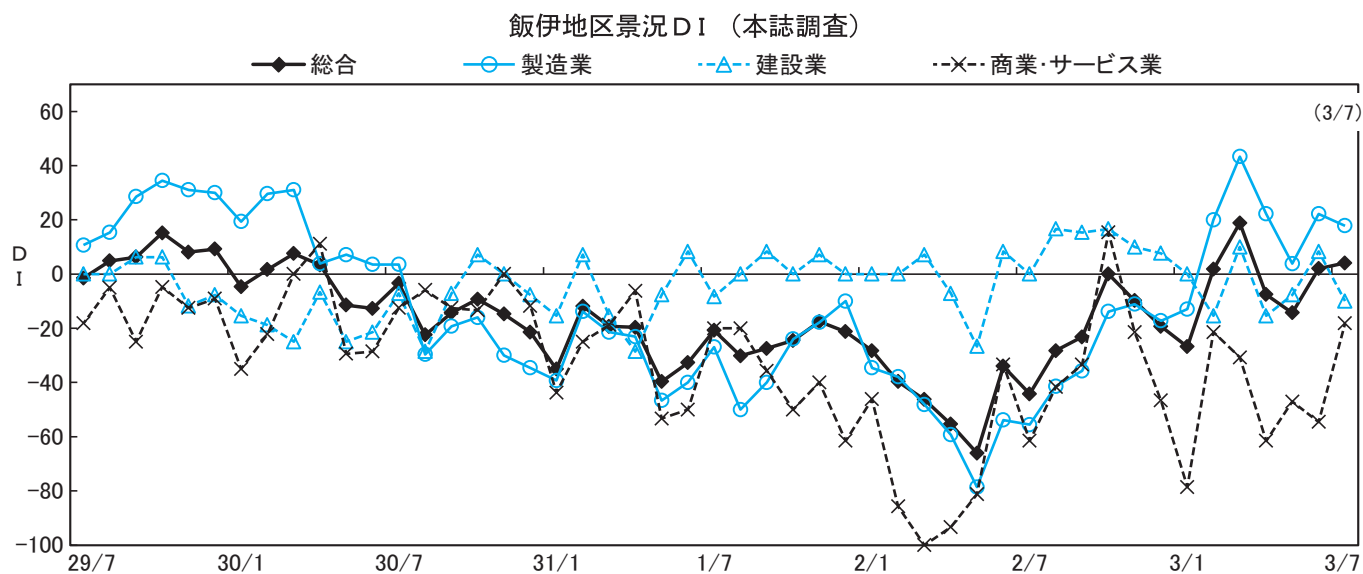
項目 年月	自 動 車 新 規 登 録 台 数 (松本自動車検査登録事務所管内)				有 効 求 人 倍 率		
	新 車		中 古 車		長 野 県	飯 田 管 内	
	実 数	前 年 比	実 数	前 年 比	季節調整値 (但、年平均は実数)	パート含む実数	パート除く実数
	台	%	台	%	倍	倍	倍
平成27年	30,124	0.1	7,819	10.8	1.25	—	—
28	27,751	△ 7.9	7,433	△ 4.9	1.41	—	—
29	27,349	△ 1.4	7,274	△ 2.1	1.60	—	—
30	27,525	0.6	7,352	1.1	1.70	—	—
令和元	29,312	6.5	8,548	16.3	1.60	—	—
2	26,002	△ 11.3	8,674	1.5	1.16	—	—
令和 2. 4	1,587	△ 30.7	806	△ 8.5	1.29	1.07	1.18
5	1,368	△ 38.8	512	△ 26.5	1.14	0.85	0.99
6	1,955	△ 26.0	766	△ 0.4	1.08	0.88	0.98
7	2,204	△ 19.4	881	10.1	1.05	0.90	1.03
8	1,765	△ 21.0	664	6.8	1.02	1.00	1.03
9	2,743	△ 17.9	767	△ 4.6	1.03	1.04	1.09
10	2,214	23.3	787	3.4	1.05	1.03	1.09
11	2,174	3.5	680	4.3	1.08	1.15	1.26
12	2,127	5.8	701	6.2	1.13	1.24	1.33
令和 3. 1	2,062	2.8	523	3.8	1.17	1.24	1.40
2	2,192	△ 1.5	665	△ 3.9	1.19	1.22	1.41
3	3,873	6.6	1059	15.9	1.25	1.23	1.40
4	1,891	19.2	834	3.5	1.30	1.19	1.38
5	1,581	15.6	648	26.6	1.32	1.18	1.35
6	1,929	△ 1.3	780	1.8	1.40	1.31	1.47
資料出所	長野運輸支局松本自動車検査登録事務所				長野労働局・ハローワーク飯田		

※数値は発表者によって予告なく改定されることがあります。

項目 年月	手 形 交 換 高		倒 産 件 数 (負債額 1 千万円以上)		信 用 保 証 承 諾 (飯田支所管内)	
	枚 数	金 額	長 野 県 内	飯 伊 地 区	新 規 保 証	前 年 比
	枚	千円	件	件	件	%
平成27年	51,892	58,937,709	86	12	2,120	3.1
28	47,284	53,411,735	88	8	2,004	△ 5.5
29	44,601	56,085,863	81	10	1,914	△ 4.5
30	40,929	54,405,406	93	20	1,815	△ 5.2
令和元	37,047	51,833,945	79	8	1,842	1.5
2	32,204	47,885,737	80	8	3,707	101.2
令和 2 . 4	2,714	4,053,982	9	1	259	100.8
5	2,248	3,844,624	6	0	546	279.2
6	3,021	4,846,708	10	1	631	378.0
7	2,707	3,487,706	9	2	520	219.0
8	2,523	3,871,691	8	1	343	136.6
9	2,440	4,100,814	6	0	235	32.0
10	2,260	3,214,705	7	0	213	43.9
11	2,688	3,479,775	6	0	203	39.0
12	2,697	3,556,043	2	0	250	20.8
令和 3 . 1	2,219	3,207,004	3	0	110	△ 15.4
2	2,377	3,521,051	9	1	178	20.3
3	2,989	5,343,135	11	1	506	121.0
4	2,459	3,407,990	3	0	65	△ 74.9
5	2,389	3,635,849	4	1	84	△ 84.6
6	2,513	4,200,108	5	1	102	△ 83.8
資料出所	飯田手形交換所		南信州地域振興局商工観光課		長野県信用保証協会飯田支店	

項目 年月	中央道利用台数（インターチェンジ出入合計）									
	飯 田 I C		松 川 I C		園 原 I C		山 本 I C		座光寺 S I C	
	実 数	前年比	実 数	前年比	実 数	前年比	実 数	前年比	実 数	前年比
	台	%	台	%	台	%	台	%	台	%
平成27年	2,780,683	△ 0.1	1,821,617	△ 0.7	435,939	19.6	1,047,675	7.0	—	—
28	2,755,469	△ 0.9	1,819,412	△ 0.1	375,892	△ 13.8	1,022,578	△ 2.4	—	—
29	2,759,316	0.1	1,865,085	2.5	368,243	△ 2.0	1,018,661	△ 0.4	—	—
30	2,765,376	0.2	1,871,062	0.3	423,828	15.1	1,017,497	△ 0.1	—	—
令和元	2,741,865	△ 0.9	1,836,395	△ 1.9	405,661	△ 4.3	1,015,783	△ 0.2	—	—
2	2,191,489	△ 20.1	1,539,468	△ 16.2	330,231	△ 18.6	849,805	△ 16.3	—	—
令和 2 . 4	136,178	△ 39.8	94,164	△ 35.8	19,617	△ 56.6	51,451	△ 42.3	—	—
5	125,865	△ 46.7	89,328	△ 42.3	21,090	△ 59.9	44,530	△ 52.5	—	—
6	171,397	△ 20.6	118,462	△ 19.3	27,869	△ 5.2	61,434	△ 16.1	—	—
7	180,904	△ 22.5	120,200	△ 22.4	21,529	△ 17.5	65,582	△ 18.9	—	—
8	182,549	△ 29.4	129,197	△ 24.0	35,815	△ 12.2	82,106	△ 25.0	—	—
9	195,154	△ 17.1	141,575	△ 13.5	31,194	△ 2.0	80,377	△ 9.7	—	—
10	210,908	△ 7.4	156,747	△ 1.4	42,201	21.9	90,939	2.6	—	—
11	209,769	△ 13.8	164,232	△ 8.9	36,975	△ 10.7	95,852	△ 9.2	—	—
12	184,721	△ 17.0	133,006	△ 12.4	20,329	△ 26.1	67,333	△ 14.2	—	—
令和 3 . 1	146,814	△ 28.8	102,471	△ 24.0	17,309	△ 28.1	49,999	△ 29.6	—	—
2	152,693	△ 20.3	107,189	△ 16.5	17,504	△ 29.9	54,490	△ 20.0	—	—
3	196,614	0.1	132,148	2.2	21,394	△ 12.9	73,022	2.7	7,353	—
4	165,491	21.5	97,922	4.0	40,698	107.5	77,955	51.5	51,242	—
5	155,371	23.4	93,665	4.9	28,403	34.7	67,694	52.0	49,070	—
6	161,287	△ 5.9	101,444	△ 14.4	23,748	△ 14.8	63,407	3.2	51,295	—
資料出所	中日本高速道路（株）名古屋支社飯田保全サービスセンター									

飯伊地区全産業景況DIの推移



統計調査から

【「未来カルテ」を用いた、三遠南信各地域の2050年の総人口と就業人口予測】

「未来カルテ」は、人口減少や高齢化に対して何も対策せず、現在の傾向が継続した場合の、産業構造や、保育、教育、医療、介護の状況、公共施設・道路などの維持管理可能性、住宅の供給可能性、再生可能エネルギーによる自給可能性などの分野について、将来の状況をシミュレートして数値で視覚化するプログラムで、千葉大学大学院社会科学研究院 倉阪秀史教授らが公開しているものである。

これを用いた三遠南信各地域の2050年の総人口と就業人口予測は以下の通り。

南信州地域は、総人口、就業人口ともに三地域の中で減少率が高い。また、2050年の就業者が総人口に占める割合が、三地域の中で最も高いほか、長野県（46.4%）、全国（42.3%）よりも高い。

		2015年	2050年	増 減 数	増減率(%)
南信州	総人口(人)	162,200	108,251	▲ 53,949	▲ 33.3%
	就業者数(人)	85,373	53,008	▲ 32,365	▲ 37.9%
	総人口に占める就業者数の割合(%)	52.6%	49.0%	(▲ 3.7ポイント)	
東三河	総人口(人)	757,453	614,746	▲ 142,707	▲ 18.8%
	就業者数(人)	373,735	272,578	▲ 101,157	▲ 27.1%
	総人口に占める就業者数の割合(%)	49.3%	44.3%	(▲ 5.0ポイント)	
遠州	総人口(人)	1,323,239	1,116,456	▲ 206,783	▲ 15.6%
	就業者数(人)	682,777	506,029	▲ 176,748	▲ 25.9%
	総人口に占める就業者数の割合(%)	51.6%	45.3%	(▲ 6.3ポイント)	

（「未来カルテ」を基に三遠南信3シンクタンク作成）